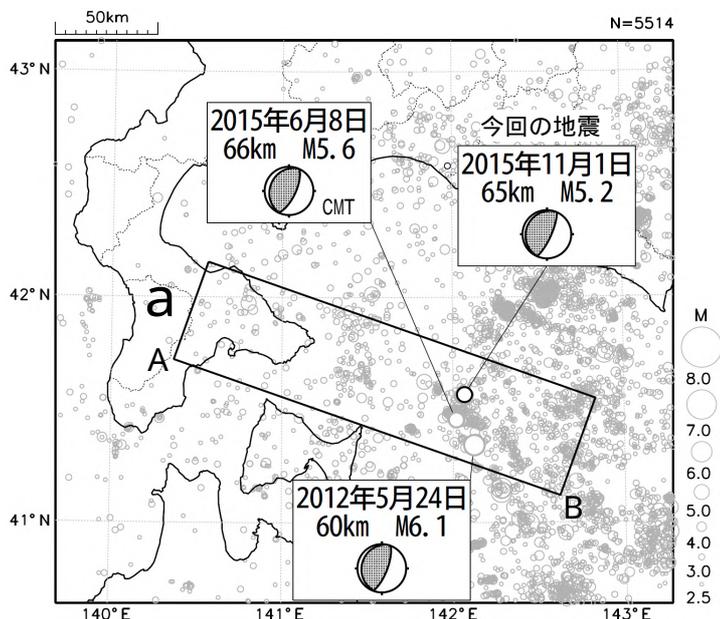


11月1日 青森県東方沖の地震

情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。

震央分布図(1997年10月1日～2015年11月1日、
深さ0～150km、M 2.5)
2015年11月1日の地震を濃く表示

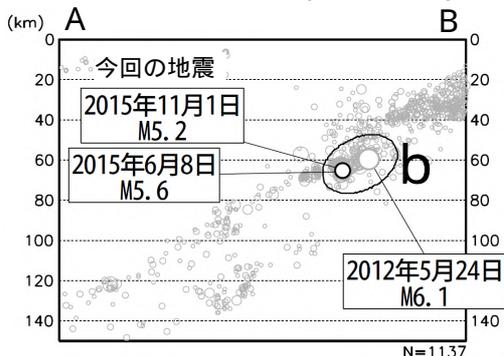


2015年11月1日12時48分に青森県東方沖の深さ65kmでM5.2の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

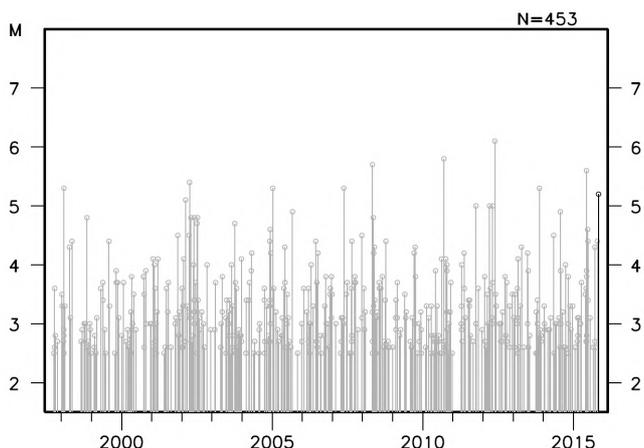
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域b)では、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、最近では2015年6月8日にM5.6(最大震度4)、2012年5月24日にM6.1(最大震度5強)の地震が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震がしばしば発生しており、最大のものは1968年5月16日に発生したM7.5の地震(最大震度5、「1968年十勝沖地震」(M7.9)の最大余震)である。なお、「1968年十勝沖地震」では、死者52人、負傷者330人、建物全壊673棟などの被害が発生した(「日本被害地震総覧」による)。

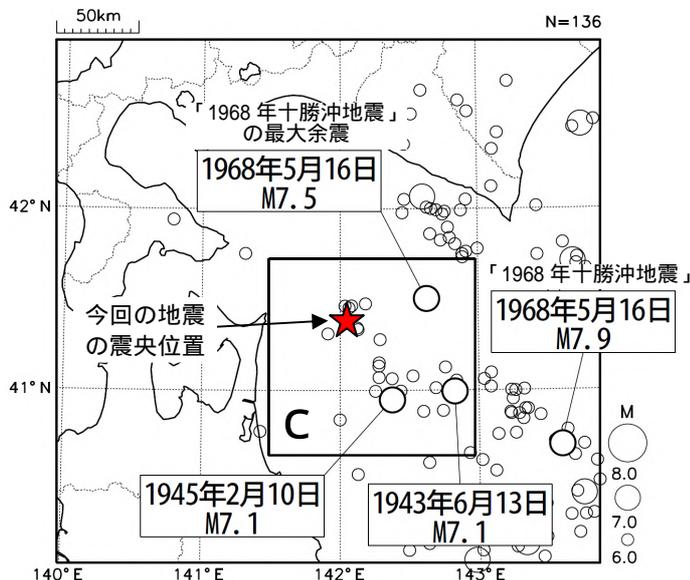
領域a内の断面図(A-B投影)



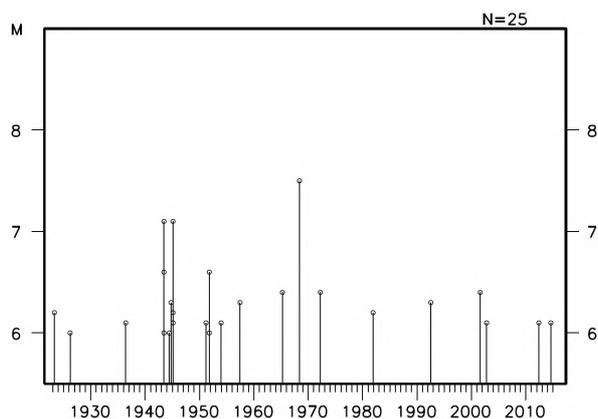
領域b内のM-T図



震央分布図(1923年1月1日～2015年11月1日、
深さ0～150km、M 6.0)



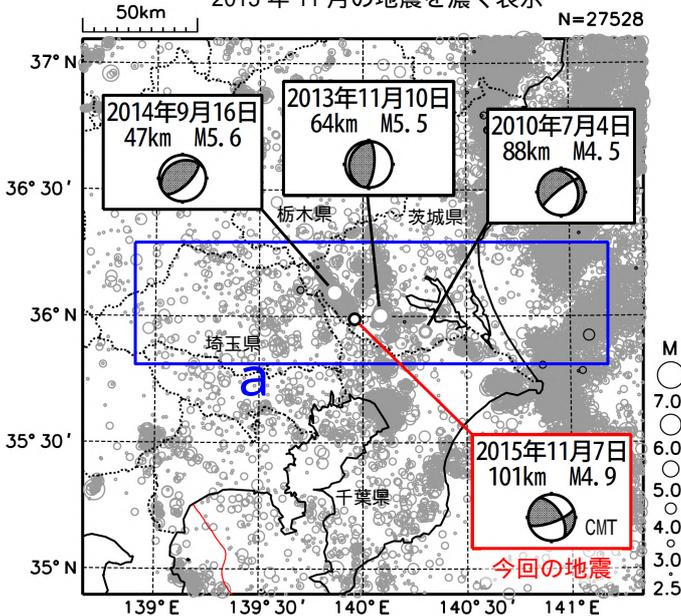
領域c内のM-T図



11月7日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2015年11月7日、
深さ0～150km、M 2.5)
2015年11月の地震を濃く表示

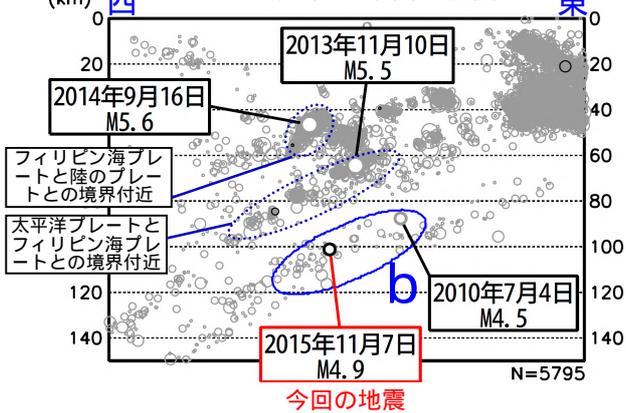


2015年11月7日22時44分に茨城県南部の深さ101kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部(二重地震面の下面)で発生した。

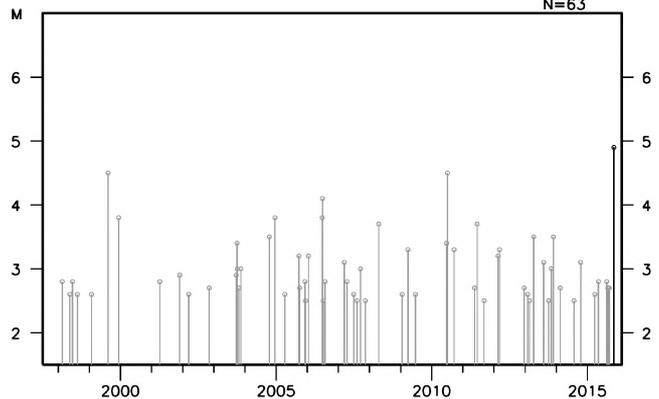
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源より50km程度浅い領域(フィリピン海プレートと陸のプレートとの境界付近)及び35km程度浅い領域(太平洋プレートとフィリピン海プレートとの境界付近)では、それぞれ2014年9月16日にM5.6の地震、2013年11月10日にM5.5の地震(共に最大震度5弱)が発生するなど活動が活発であるが、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震は発生していない。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6程度の地震が時々発生している。1983年2月27日に発生したM6.0の地震(最大震度4)では、負傷者11人などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内の東西断面図

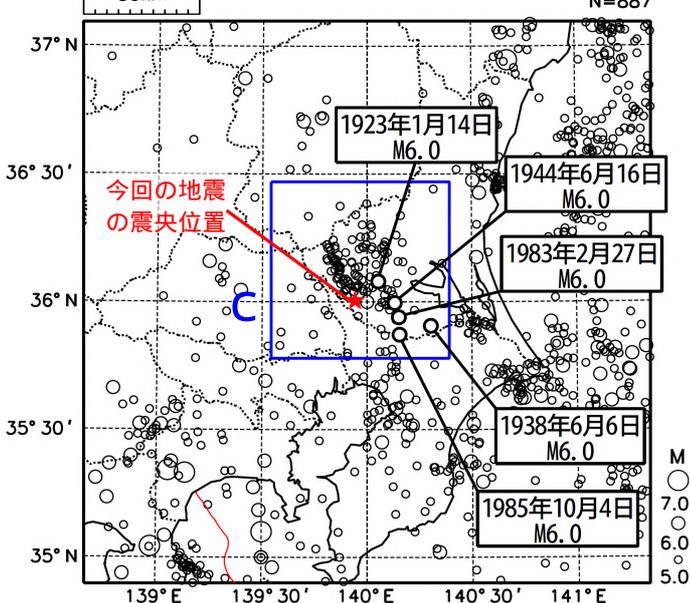


領域b内のM-T図



震央分布図

(1923年1月1日～2015年11月7日、
深さ0～150km、M 5.0)



領域c内のM-T図

